

交流は色とりどりのアートを通じて

第2回目となる今回のほつか色あそびコラボ展は、地域で活動、活躍する個人や団体が集まっています。展示ブースを各団体のイメージカラーで彩りながら、創作した作品を展示したり、音楽演奏会を通して人と想いを繋げ、コミュニティを広げることを目的としています。

今回の作品展示に、東京都立花畑学園の生徒さんが参加してくださいました。

花畑学園の先生から「コロナ禍の中、学校や生徒が地域と交流する機会を設けることができないでいたので、作品展示を通じて繋がりを持てて良かった」とコメントを頂きました。

作品に乗せた想いが、新しい繋がりになると良いですね。



花畑学園の生徒作品

色とりどりのイラストの中、黒を背景にもみじや栗などを添えたさんまがとても目を見張りますね！



でいしよつ
泥漿陶芸:ドロドロにした粘土を型に流し込み、
ゆうやく
釉薬で色をつけた作品です。専門家の指導・監修のもと作成されています、本格的です！



保塚地域周辺の高齢者介護施設、児童 NPO 団体など多くの方々が出展しました。大変な時期だからこそ、繋がりを持つ機会が欲しいですね。

取材日 : 令和2年12月28日

参加者数 : 延べ290名

取材メモ : 例年12月頃、ほつかハートプロジェクト実行委員会主催で開催されます。

(齊藤愛実・矢作祐太郎)

問合せ先 : 地域福祉課 ☎6807-2460 FAX5681-3374